

熱中症対策アイテムと活用方法①

空調服・ネッククーラー

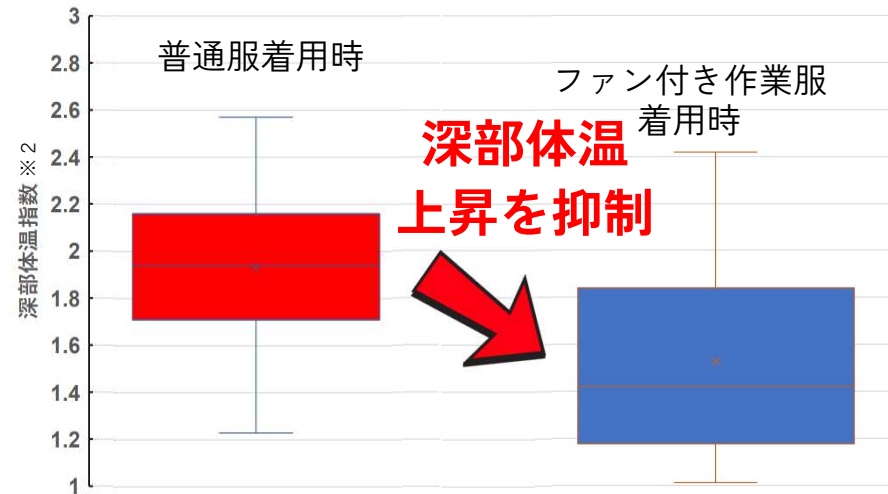
- ・ 涼しさを感じながら作業を行うことができます。例えば、ファン付きウェアやネッククーラー等があり、どちらもホームセンター等で購入できます。
- ・ また、ファン付きウェアについては、濡らしたインナーを内側に着用することで、より効果的に身体を冷やすことが期待できます。暑い時間帯の作業が避けられないタイミングで活用しましょう！



空調服（ファン付き作業着）

刈り払い機を用いた草刈り作業では、ファン付き作業服未着用の場合に比べ、**深部体温※¹の上昇を抑制する効果がある**という実証結果があります。 ※²

※¹ 深部体温は、脳や臓器など体の内部の温度で、内臓の働きを守るため、外環境の影響を受けにくく、一定に保たれているものです。深部体温が上がることで、熱中症が発症するリスクが高まります。



令和6年度 農作業事故防止中央推進会議 熱中症対策アイテムの農業機械士 によるモニター調査より

※² 深部体温計測機器（カナリア）のリスクレベル（1～4）を深部体温指数（指数が高い方が深部体温が高い）として示しています。作業内容・作業環境によって効果は異なる可能性があります。

熱中症対策アイテムの活用方法②

その他アイテム

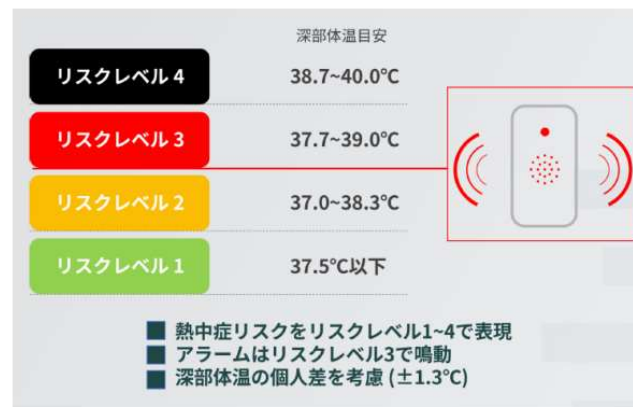
- ・ 農作業中、ヘルメットや帽子を着用する機会も多いと思います。
通気性のあるものや熱を逃がしやすい素材のものを選び、頭部に熱がこもらないようにしましょう！



- ・ スマートウォッチといったウェアラブル端末には、体表温度とその熱の流れから身体の状態を判断し、アラートを発信できるものもあります。
作業中に装着し、危機をより早く察知できるようにしましょう！

ウェアラブル端末の一例（カナリア）

〈ウェアラブル端末の例〉「カナリア」による深部体温目安



人間の深部体温（推定）の上昇を検知し、光・音・振動により装着者に熱中症リスクを教えてくれる端末です



— 着用者からの意見 —

- ・ 見守られている気がして安心できる。音が出ると、休む様に心がけた。
- ・ 自分自身では「これくらい」と重要に考えていなかった時、音が鳴って初めて危険だったことに気づいた。
- ・ 刈払機使用中は警告音が聞こえにくい。